

【評議員会議事録】

日 時：2010年1月23日（土）13時-17時40分

場 所：東京大学理学部4号館1320号室

出席者：伊藤，井上，海部，坂田，須藤，筒井，牧島，嶺重，望月，山田，劉（以上11名）

欠席者：家，池内，岡村，奥村，佐藤，杉山，谷口，観山，渡部（以上9名）

他に國枝理事長，渡邊・柴田副理事長，竹田・高田庶務理事，田代会計理事，堂谷PASJ理事，相馬天体発見賞選考委員会委員長，石田研究奨励賞選考委員会委員長，宮下事務長が出席した。

開会に先立って議長に山田 亨，署名人として望月優子，坂田 悠，の各氏が選出された。

【報告】

1. 前回議事録の確認

前回（2009年9月15日）の評議員会の議事録（資料1）についての確認がなされた。

2. 理事会諸報告（各事業の近況）

先日の理事会で担当理事から報告された各事業（年会，天文教育，月報，PASJ）の近況の話題が竹田庶務理事より要点をまとめて紹介された。年会実行委員会で年会参加資格の見直しが提案されていること（「年会での講演は会員のみに限る一方，天文学会に準ずる他学会員も本会員に準ずるものとみなす」案）に関して，退会者が増えるなどの弊害が生じないように十分慎重に検討すべきだとの指摘があった。

3. 2009年度早川基金採択状況報告

2009年度（第64回-第67回）の早川基金（研究会や観測などの研究活動のために海外に渡航する若手研究者への資金援助）の採択状況が竹田庶務理事より資料15の採択者リストに基づき報告された。採択の倍率はほぼ2倍程度になっている。

4. 事務所関係近況報告

宮下事務長より資料2に基づき，本年度の事務所職員の陣容，事務所の法的な整備（労働保険加入，過半数代表者の選出，時間外労働・休日労働に関する協定，就業規則の制定），職員の勤務時間に関する問題（超過勤務の増大など）とそれへの対策方針（積極的時間管理，仕事分担の柔軟な再構成やアルバイトの雇用）が説明された。理事長や実務理事が各職員と定期的に話し合いをするのはよいことだとの意見も出された。

5. 事業仕分けに関する声明

昨年未の民主党政権下の行政刷新会議による事業仕分けで，我が国の多くの学術分野での研究教育体制が深刻な影響を受けかねない状況に危機感を抱き，日本天文学会からも緊急声明文「事業仕分けと科学研究の将来について」を出し，政府首脳や主だった民主党議員にも送付した経緯が資料3に基づき國枝理事長から報告された。結果的に見て危惧していた研究教育予算の多大な削減は回避されたので，今回の行動はそれなりの効果はあったと思われる。

6. 若手からの報告

坂田氏から資料16に基づき，天文・天体物理若手の会が事業仕分けに対してどのようなアクションを起こしたかの経緯（背景，議論の概要，行動内容）が説明された。最終的には（賛同が得られた）「天文・天体物理若手の会88名」という署名表式で各分野の若手の会が合同で出した共同声明「21の若手の会による共同声明-知の継承と未来への投資-」に参加することになった。これに関して「若手でこの声明に異を唱えるものはいたか？」（特になかった）という質問や，「21の若手の会は生命関係分野が特に多く活動の活発さが目につく」，「これとは別に天文学会からも14学会共同声明に参加した」，「学術会議がチャンネルになって全体をとりまとめた行動を起こすことも考えてほしい」，「学術会議は一応会長声明を出したがどちらかといえば事態を静観するという慎重な姿勢を取っている」，「2010年度はとりあえず大きな影響は避けられたが，次年度以降はどうなるかわからないので今から行動を起こすことが必要」等の色々な意見も出された。

7. 学術会議からの報告

海部氏から学術会議の近況に関する報告があった。大型計画のリストアップと大規模研究計画の進行状況。天文学分科会の会員・連携会員の一部改選（再来年）に向けて、選挙は学術会議内部で行うものだが学会に意見を求めることはできるので、天文学会から推薦者をどのようにして出すかを今年中にも議論して決めてほしいこと、など。

8. その他

本日欠席された岡村評議員の依頼に基づき、百周年記念出版事業の近況を竹田庶務理事が代理で報告した。シリーズ「現代の天文学」全17巻は昨年末に全巻出版完了したのを機に（企画の基になった）寄付者3名に全巻セットを贈呈して理事長とともに挨拶に赴いた。宣伝パンフレットでお世話になった小柴昌俊氏と毛利 衛氏にもセットを寄贈した。シリーズの別巻として出版予定の総索引を兼ねた「天文学辞典」は現在項目選びが進行中である。

〔議題〕

1. PASJ紙版配布の選択と個別フリーアクセスオプションについて

資料4に沿って、堂谷PASJ理事からPASJに関する議題2件が説明された。

一つは正会員に向けて現在デフォルトで配布されているPASJ紙版の送付を希望者（「電子版にアクセスできれば十分で、紙版は不要なのでむしろ送ってほしくない」という意向の人）に対しては停止するオプションを設ける件（ただし紙版配布の有無にかかわらず会費は変わらない）である。「環境のことを考えても大変良いことだが紙版辞退者には出来る範囲で少しでも会費を値下げすることにすればもっと応じる人が増えるのではないか」、「現在のPASJの寄贈先もこの機会に見直してはどうか」、などの意見が出されたが、この選択を導入すること自体については異論が無く承認された。

もう一つは、現在（最新号を除き）出版後2年間はアクセス制限が設けられているPASJ電子版に関して、論文の著者が追加料金を払うことで自分の論文の電子版ファイルに対しては最初から誰でもフリーアクセスできるようにするという「個別フリーアクセスオプション」である。これについては「特集号の全論文を対象にすることはできないか」などの質問も出たが、「外国の雑誌の場合はどうなっているか」などの点を更に調査して検討を続けるということで結論には至らなかった。

2. 2009年度各賞受賞者の決定

2-1. 林 忠四郎賞・欧文研究報告論文賞

林 忠四郎賞選考委員会委員長（祖父江義明氏）の代理として、國枝氏より資料5に基づいて林賞選考委員会において推薦のあった3名の中から下記の1名、欧文報告論文賞については被推薦論文4編の中から下記の1編、を推薦する旨の報告があった。評議員間の意見交換を経た上で、これらはいずれも十分に受賞に値するという事で意見が一致し授賞が承認された。ただ推薦理由書にいくつか誤字や誤った使い方の語句が見られたので、更にチェックの上修正することになった。

林 忠四郎賞：常田佐久氏

欧文研究報告論文賞：

“Evidence for Solar-Wind-Exchange X-Ray Emission from the Earth's Magnetosheath”

Fujimoto R., et al., 2007年, 59巻, 133-140頁

2-2. 研究奨励賞

石田研究奨励賞選考委員会委員長より資料6に基づき、昨年末に開かれた研究奨励賞選考委員会において14名（うち1名は年齢制限オーバーで審査対象外）の被推薦者の中から以下の3名を授賞候補者として推薦する旨の報告がなされ、議論の結果いずれも十分に受賞に値するという事で意見が一致し、この3名に対して研究奨励賞を授与することとなった。

研究奨励賞：内山泰伸, 前田啓一, 山崎 了の3氏。

なお、①「最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者」と規定されている内規の解釈について、最近優れた論文を出版しているという意味に限定するのか、あるいは昔の論文でも最近評価されて引用が増えている場合も含めてよいのか、②業績上の比較ではほとんど優劣付けがたい場合に女性の方を優遇するなどの配慮をしてもよいのか、という2点の質問が石田委員長から提示され、①については「昇り盛りの若手に対する賞なのでどちらかといえば前者の解釈の方がより自然であろう」との意見は

あったものの、基本的にこれは評議員会で決めることではないので、いずれも委員会の自主的判断に任せるということになった。

2-3. 天体発見賞・天文功労賞

相馬天体発見賞選考委員会委員長より資料7に基づき、選考委員会において下記のように天体発見賞候補4氏（グループ）[22件]、天文功労賞（長期的な業績）候補1氏、天文功労賞（短期的な業績）候補3氏、を推薦することに決定したとの報告があった。議論の結果、いずれも承認された。

天体発見賞：板垣公一（15件）、野口敏秀（1件）、西山浩一・椛島富士夫（5件）、西村栄男（1件）、の各氏

天文功労賞（長期的な業績）：板橋伸太郎氏

天文功労賞（短期的な業績）：三品利郎、佐藤英貴、SonotaCoネットワーク（代表 植原 敏）の各氏

今回は天体発見功労賞は受賞者の選出がなかった。

なお、相馬氏から「天体発見賞は一人で複数件の発見がある場合でもこれまでは一つ一つの発見に対応した賞状とメダルを渡していたが、多数に上る場合は授与式自体も間延びして緊張感が失われる弊害があるので、今度からは賞状やメダルは超新星・新星・彗星の3部門に分ける程度にして各ジャンルで一人で複数天体の発見があってもなるべくまとめて記入する方針でいきたい」との提案があり、承認された。

3. 2009年度事業報告書案

竹田庶務理事より資料8に基づいて2009年度の事業報告案について説明があり了承された。ただ、会員数の変遷などはグラフなどを用いて視覚に訴えるようにした方がわかりやすいという意見があったので次回から考慮したい。

4. 2009年度決算報告書案

田代会計理事より資料9に基づいて2009年度の決算報告案（一般会計と特別会計）についての説明があり了承された。

5. 2009年度監査報告

竹田庶務理事より資料10に基づき、2010年1月5日に行われた2009年度の事業報告書と決算報告書の監事による監査が特に問題なく正当と承認されたことの報告があり、了承された。

6. 2010年春季総会議題等

竹田庶務理事より資料11に基づき、春季総会の議題と報告案の説明があり、了承された。

7. 会費未納による除名について

竹田庶務理事より資料12に基づき会費未納による37名、1団体、1社の会員除名候補リストが示された。このうち賛助会員1社については今後も手を尽くして先方に会費納入を働きかける努力を続けるということになったが、それ以外については除名もやむなしと承認された。ただし早急に（今後1カ月以内が目安）入金手続きがなされた場合は本リストからは外されて会員資格は継続される。

8. 理事長公選制について

國枝理事長より資料13に基づき、来年度からの理事長選任に向けて本年度に選挙を実施する予定で進めている、理事長公選制の選挙施行細則案が説明された。昨年の理事会や評議員会でも回覧されて少しずつ改訂されてきた案であるが、今回も細かい文言から本質的な問題まで色々な意見が出され、原案に対してかなりの手直しが施された。重要な変更点は以下の2点である。（一期2年を努めた後の）再任も可能としていた点が逆に「再任は認めない」となったこと。（理事の場合にならって）評議員との重任も可としていたのが、「（理事長に関しては）評議員と重任はできない」とすること。これらの改訂を全て組み入れた最終案を改めて評議員メンバーのメーリングリストに流して確認することになった。理事会メンバーについても同様に行う。それで承認されたものを総会に諮ることになる。

9. 会員名簿作成方針について

竹田庶務理事より資料14に基づき、本年秋に発行する予定の会員名簿の作成方針（会員に対するアンケートを参考にして理事会で了承された案）が説明され、承認された。会員種別番号と氏名と所属は必

須で掲載（ただ所属は希望に応じて一般的職種名に書き換え可）。他の4項目は会員の意志で掲載か非掲載かを選択できるが、デフォルト（問い合わせに対して無回答の場合の措置）は、メールアドレスと所属先電話番号は掲載で自宅住所と自宅電話番号は非掲載。ただ、名簿は会員同士が連絡を取るための情報を提供することが主目的なので、掲載の可否を選択可能にするとしても「具体的に連絡するために必要ななんらかの項目は極力掲載にしてほしい」との学会側からの強い要望を付記するべきであろう、との意見が出された。

10. 天文学のアジア・国際連携及び今後の学会活動

海部氏から資料17に基づき、研究者は研究だけやっていけばいいのではなくもっと教育や普及活動や国際交流に力を入れるべきであろうという観点から、日本天文学会の今後の活動に関して

- (1) 国際対応の強化・特に東アジアの学会との連携の実現と発展途上国の支援（年会東アジアセッションと4学会連絡協議会の設置など）、
- (2) 国内の天文学及び科学の普及活動の強化（天文・科学普及委員会〔仮称〕の設置または現存する他の委員会の改組強化）、

という2点の提案がなされた。基本的にこの方向で推進することには異存はなく賛意が示されたが、新たな委員会の設置には手続に多少時間がかかる事情もあり、まずは天文教育委員会などの既存の委員会を中心に、一方では外部の天文教育系団体（天文教育普及研究会、日本公開天文台協会、日本プラネタリウム協議会など）とも連携を取って、できることから始めようということになった。

11. その他

柴田副理事長から「元々評議員会から発案されて実現した昨年度の全国七夕一斉講演会は多大な成功を修めたが（当日配布資料）、準備期間が数カ月しかなかったこともあり十分満足できたというわけでもなく、是非今年も実施したいのでよろしく」との協力の呼びかけがあり、基本的に賛同が得られた。次回の評議員会は春季年会（広島大）会期中の3月27日（土）に行う。

[資料]

資料1. 前回(2009.9.15)評議員会議事録

資料2. 日本天文学会事務所職員の陣容・職務と事務所諸問題整理

資料3. 事業仕分けと科学研究の将来について：日本天文学会からの声明

資料4. PASJ編集顧問・編集委員会議からの議案

資料5. 2009年度林 忠四郎賞・欧文研究報告論文賞候補者選考経過報告

資料6. 2009年度研究奨励賞候補者選考経過報告

資料7. 2009年度天体発見賞・天体発見功労者賞候補者資料

資料8. 2009年度事業報告書案

資料9. 2009年度決算報告書案

資料10. 2009年度監査報告

資料11. 2010年春季定期総会議題等案

資料12. 会費未納による除名予定者リスト

資料13. 理事長公選制度における選挙施行細則案

資料14. 2010年会員名簿作成方針案

資料15. 2009年度早川基金採択状況

資料16. 若手評議員からの報告書：天文・天体物理若手の会の事業仕分けに対する最終的なアクションに関する報告

資料17. 天文学のアジア・国際連携及び今後の学会活動

+ 当日配付資料：世界天文年全国同時七夕講演会の開催について

2010年1月23日

議長：山田 亨

署名人：望月優子
署名人：坂田 悠